

## 式 辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また御家族の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。またお忙しい所、ご臨席いただきましたご来賓の皆様  
に厚く御礼を申し上げます。

皆さんが入学した我が藍野大学には医療保健学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科の四学科ならびに大学院看護学研究科、また本年より大学院健康科学研究科を設けております。それぞれの道で、ぜひ学問に励んでいただきたいと思います。

さて、超高齢社会を迎え疾病構造も変化する今、日本の医療現場は「身体的な治療に主眼を置く医療」から「患者さんの人生・生活を支える医療」へと大きく  
転換しつつあります。

このような患者さんの生活や人生に関わる医療現場では、皆さんが今まで勉強してきたように答えが一つであるとは限らないのです。それどころか答えがあるかどうか分からない状況に遭遇することも少なくありません。そこでは患者さんや家族、そして医療者が対話を繰り返し、それぞれが納得できる解決方

法を模索する必要があります。そのために医療者に求められることは知識や技術の取得のみならず、コミュニケーション力、論理的思考力を養い、更に協働での問題解決能力を育むことです。藍野大学では「建学の精神」として『愛智精神 (philo- sophia) に基づく人間教育』そして教育理念として『Saluti et solatio aegrorum』(病める人々を医やすばかりでなく慰めるために)を掲げています。

この教育理念は、孤独という闇の中で病気に苦悩する人にとって、力強く、暖かい灯火のような存在になることが医療人の真の役割であることを謳っています。この理念は職種を問わず、全ての医療人が心掛けなければならない目標であり、医療の基本を示す精神であるといえましょう。藍野大学では、この建学の精神と教育理念に基づき、本学の教育スローガン『BE NEXT TO YOU』人の想いに応え、こころとからだ、そして生活を支える医療人へ』を制定しました。皆さんが目指すことになる医療専門職は非常に忙しい職業の一つです。内科医である私も主治医として外来なら何百人の患者さんを診ることになります。しばしば一人一人の患者さんのことを何百人いる患者さんの内の一人とどうしても思いがちになります。しかし患者さんにとっては、この私がたった一人の主治医なのです。患者さんは単に身体的な苦しみだけでなく、心の悩みや生活の苦しみを抱えておられます。そのような患者さん一人一人にしっかり寄り添い、支え、そして患者さんの想いに応えることができる医療人になることを目指し、『BE NEXT

「TO YOU」を教育スローガンにしました。私も医師になって三十年以上がたちましたが、改めてこの「BENEXT TO YOU」を胸に刻み、一人の医療人として精進していきたいと思います。皆さんも私たちと藍野大学で学び、「BENEXT TO YOU」を実践できる医療人になれるよう、ぜひ、共に目指していきましよう。

また藍野大学の学びの中で、一人の社会人として、一人の人間として成長できるよう、ぜひ頑張ってほしいと思います。

以上をもちまして私の式辞とさせていただきます。

本日は誠におめでとございます。

令和 六年 四月 三日

藍野大学学長

佐々木恵雲